

# 歯科医師・歯科医療従事者研修会

★日本歯科医師会生涯研修制度 認定研修

対象

東京都内在勤または在住の  
歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士等

受講料  
無料

歯科医師

歯科衛生士

歯科医療従事者

プログラム

## 第1回

### ①「口腔機能発達不全症に対する評価とアプローチ

～何をみて、どのように対応するのか～

舌突出や口唇閉鎖不全などの症状を呈した口腔機能発達不全を有した小児は、口腔機能の育成や向上のために低年齢のうちから適切な指導を受けることが求められます。本研修では、口腔機能発達不全症の評価方法とアプローチの仕方について学びます。

木本 茂成 (神奈川歯科大学大学院 口腔統合医療学講座 小児歯科学分野 教授)

### ②「口腔機能低下症に対する評価とアプローチ

～口腔機能障害を引き起こさないために～

口腔機能低下症は、加齢だけでなく疾患や障害など様々な要因によって、口腔の機能が複合的に低下している疾患で、放置しておくとう嚼機能不全、摂食嚥下障害となって全身的な健康を損ないます。口腔機能低下症の診断と評価法について、事例を交えて紹介します。

上田 貴之 (東京歯科大学 老年歯科補綴学講座 准教授)

## 第2回

### ①「若年者の歯の外傷への臨床的対応」

障害のある子どもは、運動機能やてんかん発作による転倒を起因とした歯の外傷を認めることがあります。小児期の外傷は、乳歯と永久歯が混在しているため、その病態が多岐にわたり予後の予測が複雑となります。今回は、口腔顎顔面領域の外傷症例を交えて、若年者の歯の外傷への臨床的対応を学びます。

清水 邦彦 (日本大学松戸歯学部 小児歯科学講座 診療教授)

### ②「開業医でできる口腔顔面痛の診断方法」

口腔顔面領域の疼痛の要因は多岐に渡り、診断には困難を要します。今回は、口腔顔面痛を引き起こす様々な疾患（筋・筋膜性疼痛や根管治療後の慢性痛など）とその鑑別診断について、分かりやすく解説します。

福田 謙一 (東京歯科大学 口腔健康科学講座 障害者歯科・口腔顔面痛研究室 教授)

## 第3回

### ①「在宅歯科診療におけるケアとリハビリテーション」

超高齢社会における医療の変化に伴い、在宅歯科医療も急速な展開が進んでいます。今後、求められる在宅歯科医療の姿について、歯科が行うべき口腔健康管理におけるケアとリハビリテーションについて知識を得ます。

菅 武雄 (鶴見大学歯学部 高齢者歯科学講座 講師)

### ②「閉塞性睡眠時無呼吸症候群に対する歯科の役割」

閉塞性睡眠時無呼吸はいびきや日中の傾眠、社会生活の低下のみでなく、心疾患や脳血管障害等の生命予後に影響する大きな疾患を誘発する可能性がある病気です。今回、閉塞性睡眠時無呼吸についてのメカニズム、歯科で対応できる口腔内装置の作製方法について注意すべき点を学びます。

外木 守雄 (日本大学歯学部 口腔外科学講座 口腔外科学分野 主任教授)

日時

第1回 2019年

4月14日(日)

① 10:00～11:30

② 12:30～14:00

第2回 2019年

5月12日(日)

① 10:00～11:30

② 12:30～14:00

第3回 2019年

6月16日(日)

① 10:00～11:30

② 12:30～14:00

会場

東京都立心身障害者口腔保健センター

8階研修室

東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ8・9階 (事務棟)

○JR利用の場合

「飯田橋」駅下車 西口改札 徒歩4分

○地下鉄利用の場合 (東京メトロ東西線、有楽町線、南北線、都営大江戸線)

「飯田橋」駅下車 B2b出口 (セントラルプラザ1階ロビー直結)



案内地図



申込方法

① FAX申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。

② 電話 (平日9時～17時) にてお申込みください。

③ 当センターホームページの「研修申込」から専用フォームにてお申込みください。

定員：各回 40名 ※定員になり次第受付を終了致します。



研修申込



お申込・お問合せ先

東京都立心身障害者口腔保健センター 研修担当

電話 03-3235-1141 FAX 03-3235-1144

URL <http://www.tokyo-ohc.org/>

★詳細はホームページをご覧ください。



研修会ページへ